

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

直近の決算日: 令和 5年 3月 31日

1. 団体の概要				
団体名	(公財) 長崎県すこやか長寿財団	設立目的、経緯及び根拠法		
設立年月日	昭和62年10月28日	●設立目的 高齢者の生きがいと健康づくり並びに高齢者介護(認知症対策を含む)の推進に係る事業を遂行し、県民の健康及び福祉の増進と明るく活力ある長寿社会づくりの推進に寄与する。		
所在地等	〒 852-8104	●経緯 昭和62年10月に高齢者総合相談事業を実施する「長崎県シルバーサービス総合センター」を設立。都道府県に「明るい長寿社会づくり推進機構」を整備する国の指導に基づき、高齢者の生きがいと健康づくり事業の推進母体として平成3年4月に「長崎県すこやか長寿財団」に改組。平成24年4月から公益財団法人へ移行した。		
	長崎市茂里町3番24号	●根拠法令 一般社団法人及び一般財団法人に関する法律、公益社団法人及び公益財団法人の認定等に関する法律		
	TEL 095-847-5212			
	Fax 095-847-6181 E-Mail info@sukoyaka-nagasaki.or.jp			
県所管課	福祉保健部 長寿社会課	定款等に定める事業		
資本金・基本金等の額(千円)	主な出資者	出資額(千円)	比率(%)	1 高齢者の健康づくりに関する支援及び啓発 2 高齢者の生きがいつくり(社会参加を含む)に関する支援及び啓発 3 認知症(若年者を含む)の人やその家族等に対する相談支援並びに地域における支援体制の強化 4 その他本財団の目的を達成するために必要な事業
	長崎県	100,000	49.72	
	本県市町	65,600	32.62	
	団体・民間企業	21,455	10.67	
	財団繰入	12,621	6.28	
	個人	1,446	0.72	
	その他	3	0.00	
	総額	201,125	100.00	
ホームページURL				

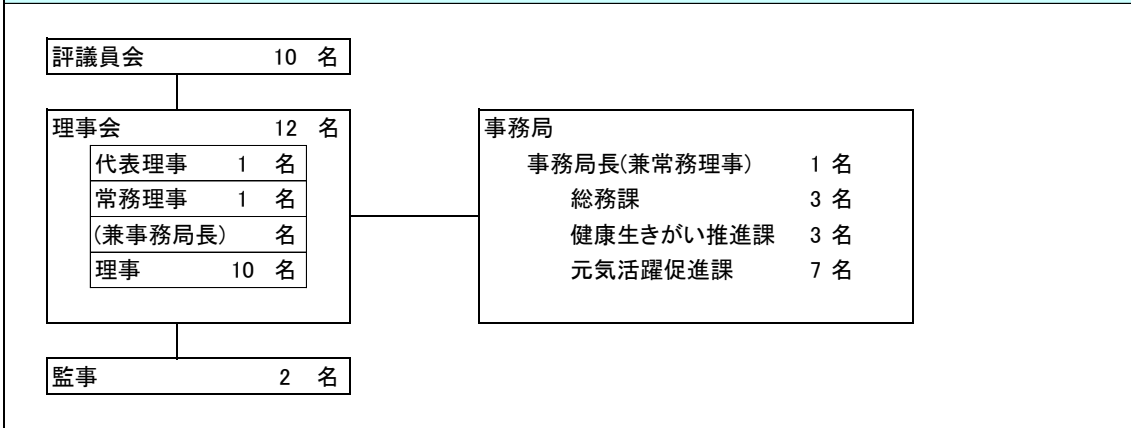
2. 組織・人員の状況(3月31日現在)													
役員(名)	区分	R2	R3	R4	プロパー	派遣県職員	兼務県職員	県OB	他自治体	民間	その他		
	常勤	1	1	1				1					
	非常勤	13	13	13				2	1	10			
	合計	14	14	14	0	0	0	3	1	10	0		
職員(名)	R2	R3	R4	正規職員		派遣県職員	兼務県職員	非正規職員		他自治体	民間	その他	
				うち県OB				うち県OB					
	14	14	13	1				12	4				
1人当たり人件費(年度推移)		R2		R3		R4		平均年齢		賞与月数			
常勤役員報酬年額(千円)		*		*		*		* 歳		/			
正規職員平均給料月額(千円)		*		*		*		* 歳		* 月			
1人当たり人件費(R4、年代別)		20代以下		30代		40代		50代		60代以上			
正規職員平均給料月額(千円)								*					
各年代別正規職員数(名)								1					
県からの常勤又は非常勤役員	県の役職				団体での役職				区分				
上記役員以外の顧問等													
県派遣又は兼務職員													

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

2. 組織・人員の状況(3月31日現在)(続き)

組織図



3. 県財政負担の状況(千円)

〈当年度受入額〉		〈当年度末残高〉	
補助金	51,754	貸付金残高	
負担金		損失補償・債務保証残高	
委託料	26,641	/	
貸付金			
損失補償・債務保証額			
出資金			

4. 県の政策との関連性

1 政策目標

■高齢者の社会参加と活躍促進

「みんなで支える明るい長寿社会」の実現に向けて、シニア世代の生きがいと健康づくりへの支援推進、シニア世代が有する知識や経験を生かした社会貢献活動や社会参加の促進、並びに認知症への支援充実に取り組む。

2 県との役割分担

県の役割	団体の役割
県の政策目標に則した事業の円滑な実施を図るため、県と当財団が協働して事業の方向性や実施方針を調整するとともに、当財団への事業費補助や業務委託を行う。	県の政策目標について共通認識を持ち、情報共有を図りながら密接な協議・連携のもと、取組事業の企画立案や実施運営を行う。
団体に委ねる理由	説明
○ 県が直接実施するよりも効果的・効率的に事業実施可能	当財団が有する関係団体との連携体制や運営ノウハウによる迅速性、機動性等を活用し、長崎県ねりんピックの開催をはじめシニア世代の生きがいと健康づくりの推進、社会貢献活動や社会参加の促進、認知症への支援充実に資する事業を推進する。
県が直接実施することが困難	
その他	

3 事業実施状況

事業名	事業概要	事業費(千円)	主な実績	事業の評価、今後の方向性
1 明るい長寿社会づくり推進事業	スポーツ交流、文化交流等によるシニア世代の生きがいづくりや健康づくり	52,185	長崎県ねりんピック(スポーツ、文化、生きがい作品展)、全国健康福祉祭、アクティブ・エイジングサポート事業等	シニア世代の生きがいや健康づくりに資する事業の推進
2 元気高齢者活躍促進事業	シニア世代が永年培った知識や経験を活かした社会参加への支援	37,201	長崎県すこやか長寿大学校の運営、ながさき生涯現役応援センター事業の実施等	シニア世代の社会貢献活動や社会参加活動等に資する事業の促進
3 認知症サポートセンター事業	地域における認知症支援体制の構築をサポートする拠点の整備	8,093	認知症支援体制の強化、認知症施策の普及・支援、若年性認知症に係る相談・支援・研修等	認知症の支援に取り組む人材の育成、認知症本人やその家族を対象とした相談支援及び関係機関との連携に資する事業の充実

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

5. 中期経営計画等の進捗状況・事業目標の達成状況											
◎ 達成 ○ 一部達成 × 未達成 - 未実施											
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R4)	達成状況			
			R2	R3							
①	生きがいや健康づくりの推進 (明るい長寿社会づくり推進事業)	各事業 1回	各事業 1回	各事業 1回			各事業 1回	◎			
	(目標値設定の根拠・考え方)										
	長崎県ねりんピック(スポーツ、文化、生きがい作品展)の実施及び全国健康福祉祭への派遣(参加)回数 (翌年度に向けての改善事項等)										
	生きがい作品展については、これまでおおむね6月に開催してきたが、令和5年度より12月開催に変更するため、円滑に実施できるよう準備を進める。										
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R4)	達成状況			
②	社会参加活動等元気活躍の推進 (元気高齢者活躍促進事業)	地区2、 講座 29、30	地区2 講座各30	地区2 講座各30			地区2 講座各30	○			
	(目標値設定の根拠・考え方)										
	長崎県すこやか長寿大学の開講地区数及び開講講座数 (翌年度に向けての改善事項等) すこやか長寿大学については、現行の講座のあり方を見直し、地域課題を的確に捉え、それを解決する専門的なスキルを持ったリーダーやプロデューサー的な人材の育成を目的とした内容にしたい。										
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R4)	達成状況			
③	認知症支援の推進 (認知症サポートセンター事業)	目	R2	(A)2回、(B)1回、(C)1回、(D)2回				◎			
		標	R3	(A)2回、(B)1回、(C)1回							
		値		(A)2回、(B)1回、(C)1回、(D)4回							
		最終年度(R4)		(A)2回、(B)1回、(C)1回、(D)1回							
(目標値設定の根拠・考え方)											
(A)認知症支援推進員等研修会、(B)キャラバン・メイト養成研修会、(C)若年性認知症担当者研修会及び(D)チームオレンジ・コーディネーター研修会の開催回数 (翌年度に向けての改善事項等)											
県との協議を踏まえ対応を行う。											
No.	項目名	R4実績	計画上の目標値				最終年度(R4)	達成状況			
④	財団事業の広報と情報発信の推進	目	R2	年間3回、各6,000部				◎			
		標	R3	年間3回、各6,000部							
		値		年間3回、各6,000部							
		最終年度(R4)		年間3回、各6,000部							
(目標値設定の根拠・考え方)											
情報誌「そよかぜ」の発行回数及び発行部数 (翌年度に向けての改善事項等)											
補助金額削減の状況を踏まえ、発行回数、発行部数、ページ数等について検討を行う。											
No.	項目名	R2	R3	R4	備考						
①	明るい長寿社会づくり推進事業	(計画)	各事業1回	各事業1回	各事業1回						
		(実績)	大部分中止	大部分中止	各事業1回						
		(計画)	2地区各30講座	2地区各30講座	2地区各30講座	R4年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により1講座不開講					
(実績)	2地区計54講座	2地区計41講座	2地区計59講座								
③	認知症サポートセンター事業	(計画)	各1~2回	各1~2回	各1~2回	各研修会の開催回数					
		(実績)	各1~2回	各1~4回	各1~2回						
(県が期待する効果の実現)											
評価結果					評価理由						
	十分実現している					各種事業の実施により、高齢者の健康づくり・生きがいづくり、認知症の方への支援体制の強化に寄与したが、ねりんピックの参加者数や社会参加に関する相談窓口の登録者数など、高齢者の社会参加を推進するにあたり掲げている目標値については、達成することが出来なかった。					
○	概ね実現しているが未実現の部分がある										
	実現できていない										
(計画達成状況の判定)											
判定項目			評価基準						点数		
①	中期経営計画の策定		[2点]中期経営計画(計画期間3年以上)を策定している						2		
②	中期経営計画の目標達成		[1点]目標を1項目達成			[2点]2項目以上達成			2		
③	事業目標の達成		[1点]事業目標を1項目達成			[2点]2項目以上達成			-		
④	県が期待する効果の実現		[1点]効果を概ね実現している			[2点]十分実現している			1		
合計								5			

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【公益法人会計基準適用法人用】

直近の決算日: 令和 5年 3月 31日

6. 財務の状況 (単位:千円、%)

項 目	R2		R3		R4		対前年度比
	金額	対前年度比	金額	対前年度比	金額	対前年度比	
【貸借対照表】							
流動資産	19,594		18,070	92.22	24,203	133.94	
うち金銭債権額				-		-	
固定資産	249,572		256,703	102.86	254,551	99.16	
基本財産	201,146		201,132	99.99	201,125	100.00	
特定資産	48,426		55,571	114.75	53,224	95.78	
その他固定資産				-	202	-	
資産合計(A)	269,166		274,773	102.08	278,754	101.45	
流動負債	5,128		4,233	82.55	10,937	258.37	
うち短期借入金				-		-	
固定負債	4,302		4,446	103.35		0.00	
うち長期借入金				-		-	
うち退職給付引当金	4,302			0.00		-	
負債合計	9,430		8,679	92.04	10,937	126.02	
指定正味財産	188,479		188,459	99.99	188,446	99.99	
一般正味財産	71,257		77,635	108.95	79,371	102.24	
正味財産合計(B)	259,736		266,094	102.45	267,817	100.65	
団体債務保証額				-		-	
【正味財産増減計算書】							
経常収益(C)	84,843		89,184	105.12	100,556	112.75	
うち受託事業収入	20,384		25,502	125.11	26,641	104.47	
うち補助金収入	46,297		44,410	95.92	51,904	116.87	
うち基本財産等運用益収入	2,758		2,749	99.67	2,710	98.58	
うち自己収入(D)	18,162		19,272	106.11	22,010	114.21	
うち県財政支出額(E)	66,681		69,762	104.62	78,395	112.37	
経常費用	79,177		82,806	104.58	98,820	119.34	
事業費	77,326		81,758	105.73	97,479	119.23	
うち人件費(F)	54,524		54,203	99.41	50,376	92.94	
管理費(G)	1,851		1,048	56.62	1,341	127.96	
うち人件費(H)	279		300	107.53	282	94.00	
当期経常増減額(I)	5,666		6,378	112.57	1,736	27.22	
経常外損益				-		-	
当期一般正味財産増減額(J)	5,666		6,378	112.57	1,736	27.22	
当期指定正味財産増減額(K)	-19		-19	100.00	-12	63.16	
(会計方針の変更による影響額)				-		-	
【収支計算書等】							
当期収入	84,843		89,184	105.12	100,556	112.75	
当期支出	79,177		82,806	104.58	98,820	119.34	
当期収支差額(L)	5,666		6,378	112.57	1,736	27.22	
次期繰越収支差額(M)	21,331		27,709	129.90	29,445	106.27	
【会計単位別】							
	経常収益	経常費用	当期経常損益	当期収入	当期支出	当期収支差額	
一般会計							
特別会計							
合 計	0	0	0	0	0	0	
各財務数値の増減理由及び各種引当金の設定状況等							
<p>○令和2年度及び3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により長崎県ねりんピック、全国健康福祉祭(全国ねりんピック)等の主要事業が中止又は縮小されたため、例年に比べて経常費用が減少し、当期経常増減額(I)及び当期一般正味財産増減額(J)は大幅にプラスとなった。一方、令和4年度については、新型コロナウイルス感染症対策の見直しにより、主要事業の大半が実施されて経常費用が増加したため、令和2年度及び3年度に比べ当期経常増減額(I)及び当期一般正味財産増減額(J)が減少した。</p> <p>○令和3年度については、新型コロナウイルス感染症の影響により理事会及び評議員会を各1回書面決議により実施したため、管理費における理事評議員報酬及び旅費交通費が例年に比べ減少した。令和4年度は例年どおり理事会及び評議員会の会議を各2回開催したため、令和3年度に比べ理事評議員報酬等の管理費が増加した。</p>							
(財務状況の判定)							
判定項目	R2	R3		R4		点数	
	数値・比率	数値・比率	対前年度比	数値・比率	対前年度比		
① 当期経常増減率率(I/C)	6.68	7.15	107.09	1.73	24.14	25.85	-2.0
② 当期一般正味財産増減率率(J/C)	6.68	7.15	107.09	1.73	24.14	25.85	-2.0
③ 当期指定正味財産増減率率(K)	-19	-19	100.00	-12	63.16	63.16	0.0
④ 正味財産比率(B/A)	96.50	96.84	100.36	96.08	99.21	99.56	0.0
⑤ 次期繰越収支差額(M)	21,331	27,709	129.90	29,445	106.27	138.04	0.0
⑥ 県財政支出率(E/C)	78.59	78.22	99.53	77.96	99.67	99.20	0.0
⑦ 自己収入比率(D/C)	21.41	21.61	100.95	21.89	101.29	102.25	0.0
⑧ 管理費比率(G/C)	2.18	1.18	53.86	1.33	113.49	61.13	-0.5
合計							-4.5

※判定項目ごとに評価基準に基づき採点

出資団体の概要(出資団体経営評価・診断表 様式①)

【共通】

7. 経営内容及び事業活動についての総合判定			
(団体の自己評価)			
「計画達成状況」「財務状況」の合計点数	0.5	➡	総合判定 B
5点以上:A 概ね良好	-5点以上~5点未満:B 改善の余地あり	-5点未満:C 一層の努力が必要	
※事業活動・経営の努力・今後の課題及び改善事項等			
<p>○令和4年度の当期経常増減額は1,736千円となり、令和2年度及び3年度に続き剰余が生じたが、特定事業の運営資金に充当するため特定費用準備資金として積み立てることにより、公益財団法人としての収支相償の判定基準を満たすことができた。</p> <p>○今後も、引き続き効率的・効果的な事業運営に一層努めるとともに、事業実施に必要な組織・人員体制を構築していきたい。</p>			
(県の評価)			
合計点数	0.5	※評価の内容、県評価での加点・減点、総合判定の理由 (加点・減点を行う場合は、点数及び理由を具体的に記載ください。)	
総合判定	B	当財団が行う事業は一定の効果を上げているが、高齢者を取り巻く環境は大きく変化してきており、それらの変化に対応した活動が求められる。多様な高齢者のライフスタイルやニーズに応じた社会参加の機会の提供を行うとともに、地域課題の解決に高齢者の力を活かす取り組みをより一層推進する必要がある。	
(今後の県の関与の方針)			
高齢者を取り巻く環境の変化や、県や市町等との役割分担なども考慮しながら、効果的な事業運営方法の検討や事業の見直しを引き続き財団と協議していくとともに、必要な財政的支援を行う。			